

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 18号

令和6年7月3日(水)発行

校長 関根 崇史

【保護者の皆様へのお願い～児童の送迎について】

毎朝、正門前に立って子供たちの登校の様子を見守っています。目的の一つは、「あいさつ」がしっかりとできる学校にしたいと考えているからです。私自身、子供たちが元気に、笑顔であいさつをしてくれると、今日も一日頑張ろうという活力が湧いてきます。子供たちにも「あいさつを交わすと気持ちがいい」と思ってもらえるように、できるだけ一人一人の顔を見て、声をかけるようにしています。よいあいさつは、よい人間関係の第一歩。元気なあいさつを交わし合って、素敵な仲間をたくさん増やして行ってほしいと思います。

もう一つの目的は、「安全」の確保のためです。学校の周りにはたくさんの大きな道路があり、車が途切れることなく走っています。交通指導員さんや旗振り当番の保護者の皆様、見守りボランティアの方々などの協力をいただき、子供たちは安全に登下校することができています。本当にありがとうございます。私も微力ながら、子供たちの安全に貢献できればと考えています。

そんな中、少し気になることがあります。それは、車での送迎が多いことです。色々な事情があると思いますので、一概に「いけない」と言うつもりはありません。しかし、大きな理由がないのであれば、歩いて登校させるようにしてもらえたらと思います。毎日歩いて登下校することで、体力がつかます。友達と会話をしながら登下校するなど、人と関わることも、この時期の子供たちには必要なことです。地域の方や安全を見守ってくれている方とあいさつを交わすこともできますし、そういった中で多くの支えがあることを実感できます。また、「自分のことは自分です」という自立にもつながっていきます。

どうしても車での送迎が必要だという場合には、必ず北門から入り、北側の駐車場でお子さんを乗り降りさせてください。道路でお子さんを車から乗り降りさせることは大変危険です。車への乗り降りの際に、車や自転車等との事故が起こる可能性があります。また、歩いて登校する子供たちが、止まっている車の陰に入り、他の車などから見えにくくなることで事故につながる危険性もあります。このように、**道路に車を止めての人の乗り降りは、お子さん自身に危険が及ぶ可能性**があり、**他の車や自転車、歩いてくる子供たちにとっても迷惑で危険な行為**となります。登下校における危険は、できるだけ取り除きたいと考えていますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

《参考》道路に車を止めたときの危険とは・・・

右の写真を見てください。道路の左側に車が止まっており、子供がその前を道路横断しようとしています。もし、後ろから別の車が来ており、止まっている車を避けて道路を走り抜けようとしたらどうなるでしょうか？急に子供が出てきた場合などは、止まることができずにはねてしまうことが考えられます。このような



事故を防ぐために①安易に道路へ車を止めない②歩行者は止まっている車の前後での道路横断をしない、どうしてもしなくてはならない場合には安全確認をしっかりとする③このような車を追い越す場合、死角から人が飛び出しがあることも予測してゆっくりと走行する、といったように、道路に車を止める者、その近くを横断する歩行者、止まっている車の横を車や自転車等で通り抜けようとする運転者、三者全てが注意をする必要があります。路上に車を止めることが、危険な状況を作り出すということを理解し、事故がないように気をつけてください。